

# 『第63回 RALLY COSTA BRAVA』を走り終えて

ドライバー 篠塚建次郎



## 東京大学 海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト2015 東大工学部 × 篠塚建次郎



スタート地点のヨレット

### FINISH RUNNING

東京大学工学部の学生たちで編成する「TEAM剛」のドライバーとして挑戦したコスタブラバでしたが、主催者の思い入れ、出場者の情熱、それを取りまく環境の全てが想像を越えるもので、1986年に初めて出場した「パリ・ダカ」にも似た高揚感がありました。今回の出場によって学生たちとの絆を深めると共に、彼等に対して「社会教育」を果たすことができたのではないかと考えています。総勢23名のメンバーが同じ目標に向かって行動する事の難しさと素晴らしさ、海外で戦うことの大変さを知り、ヨーロッパにおいてモータースポーツは実にポピュラーであり、歴史のある文化だということを感じました。このプロジェクトに参加した学生たちはグローバルに視点を広げ、クルマに対する理解と愛着を深めてくれたのではないのでしょうか。結果はクラス10位。顧問である草加特任教授は「優勝するのは目標であって目的ではない」と言っていますが、私をドライバーとして指名してくれ、往年のランサーGSRを用意してくれたのですから、是非とも優勝したかった…それが今の正直な気持ちです。



### TO TEAM GO

東大生たちによって全てが運営される「海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト」への参加は1年限りと決められ、同じ学生が翌年に関わることはできません。従って、今回参加している学生にとっては何かかもが初めてのことばかりになります。と同時に私にとっても今まで走ってきたスピードラリーとはかなり異なる環境の中での戦いでした。ナビゲーションが主体のラリーで、頼みの綱であるラリーコンピュータが最初から使えなくなってしまったこと、コ・ドライバーが緊張のために車酔いに悩まされたこと、燃料系のトラブルを抱えサービスに苦労したこと…。予想していなかったことの連続は、私が初出場を果たした「パリ・ダカ」さながらでした。初めての海外ラリーに真正面から向かい合う学生たちと過ごした時間は、私にとっても大きな刺激になったことは間違いありません。

ジローナのある公園のサービスポイントに入る



**10**  
THE TENTH PLACE  
63 RALLY COSTA BRAVA  
完走 第10位

### TO BE CONTINUED

東京大学工学部による「海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト」は、今年の4月から新3年生の募集を開始し、新たな挑戦がスタートします。私も『生涯現役のラリードライバー』として、次回も参戦する予定です。今後も応援よろしく願いいたします。

